

# 播磨新宮インターチェンジから山崎ジャンクション(仮称)までの建設事業



播磨自動車道(たつの市～宍粟市)は、山陽自動車道 播磨JCTから分岐し、中国自動車道 山崎JCT(仮称)へ至る、約24kmの高速道路です。平成15年3月に播磨JCTから播磨新宮ICまでの12.8kmが開通しており、現在は播磨新宮ICから山崎JCTまでの建設事業を進めています。この路線が全線開通することにより、中国自動車道と山陽自動車道を結んだ西日本の交通ネットワークが充実し、産・学・住の各機能が一堂に集う国際的な『播磨科学公園都市』と接続するなど、西播磨地域の発展に寄与します。

なお、直轄事業である佐用JCT以北(鳥取自動車道 L=62.3km)は、平成25年3月に全線開通しており、今回区間が姫路鳥取線最後の建設区間となっています。

## 自然環境への配慮

建設にあたっては、路線周辺の動植物の現況調査を実施し、保全対策を行うなど、自然環境に配慮しながら事業を行っています。

【主な希少種】



播磨道建設事業では「みなさんで繋ぐ希望のまち」をキャッチフレーズに、中国道の管理は「100%の安全安心確保」を旨とし、事業推進・展開に、安全第一で適進してまいります。

播磨道建設事業では「みなさんで繋ぐ希望のまち」をキャッチフレーズに、中国道の管理は「100%の安全安心確保」を旨とし、事業推進・展開に、安全第一で適進してまいります。

今も工事中の現場は、地味も刻々と変化していくこと、また、供用後42年を経過した中国道においては、劣化橋梁の取替工事に伴う対面通行規制を繰り返して実施して「安全」から、「この機に」は「はりま★ハイウェイ」の創刊となりました。

今回創刊しました「はりま★ハイウェイ」が、地域の皆様をはじめ関係者の方々に、播磨道建設事業、中国道の保全事業等へのご理解をいただくための一助となれば幸いです。



NEXCO西日本福岡高速道路事務所では、中国横断自動車道姫路鳥取線の播磨新宮ICから山崎JCT(仮称)の11.4kmの高速道路建設事業及び、中国自動車道吉川ICから佐用IC、鳥取自動車道佐用JCTから佐用TBまでの77.4kmの管理を担当しています。

「はりま★ハイウェイ」創刊にあたって

VOL. 1  
平成29年10月

播磨自動車道(播磨JCT～播磨新宮IC)

走ろう！～！  
つなぐ！

# はりま★ハイウェイ